

【構造化光カメラに基づく3次元顔認識手法】 CLOUD WALK

①要約：

このアイデアは、2次元顔画像を使用して3次元顔モデルを作り、3次元情報を取得して類似度を判断することで顔認識精度を向上させるという内容です。

②目的：

このアイデアの目的は、情報量が少ない2次元顔画像ではなく、3次元情報を使用することで、顔認識の精度を向上させることです。

③新規性：

このアイデアの新規性は、2次元画像から3次元情報を取得し、AIを用いて類似度を判断する手法であり、従来の2次元画像だけではなく、3次元情報を活用した方法である点にあります。

④独自性：

このアイデアの独自性は、従来の顔認識手法とは異なるアプローチであり、プロジェクターを使用して3次元情報を取得する手法や、AIを用いて類似度を判断する方法が独自である点が挙げられます。

⑤経済価値：

このアイデアの経済価値は、金融機関やセキュリティ業界など、顔認識技術が求められる分野において、高い精度で顔認識を行うことができるため、セキュリティや顧客対応の自動化など、効率を向上させることができ、社会的な貢献や経済効果が期待される点があります。